

浦 政 策 第 6 3 6 号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長 様

浦幌町長 水 澤 一 廣



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

ことについて、別紙のとおり提出しますので、よろしくお取り計らい願います。

浦幌町役場
まちづくり政策課企画振興係
電話：015-576-2112

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的かつ重要な社会資本整備であります。

少子高齢化が急速に進展していく21世紀において、豊かな生活、活力ある地域社会、安全で安心できる国土の実現のためには、将来にわたって、国民共通の資産である道路を計画的に整備することが重要と考えます。

特に広大な面積を有し、広域分散型社会を形成し、自動車交通への依存度が高い北海道にとって、地域経済の活性化や地域間交流の活性化、住民が安心して暮らすことのできる快適で潤いのある生活環境の実現を図るためには、今後とも計画的な道路整備の促進が必要であります。

このためにも、北海道開発局の存続を堅持し、北海道の経済の衰退をまねかないためにも 社会基盤整備が遅れている現状等を十分考慮した地域産業の振興に努める対策を図る必要があります。

また、道路特定財源の一般財源化については、地方が必要とする道路の整備や維持管理に要する財源の確保を明確にし、積雪寒冷地で、広域分散型地域構造である北海道の地域特性を考慮した道路整備をおこない、さまざまな課題に対応することができるよう地方道路整備臨時交付金制度の継続と更なる拡充をもって、今後も、安定的かつ確実な道路整備のための財源を確保することが必要であります。

地域間格差への対応や、生活者重視の視点を踏まえつつ、地方の活性化や自立に必要な地域の基幹道路の整備や高速道路や高次元医療施設へのアクセス及び、地域経済の強化、安心安全の確保など、地域の自主性、道路事情を懸案し、地域の抱える課題を優先的に進める必要がある。

〇現状	〇課題
いままでのトンネルは旧規格の古いものであり、高さ、幅員ともに国際基準コンテナの通行ができない路線となっており狭いトンネルの中での接触事故も多発している。 浦幌の地域は泥炭地で、道路の地盤沈下などがひどく、橋梁や、マンホールとの段差が毎年おきており、修繕に多大な経費がかかっている状況にあります。 地域は道路網の発達により地域の振興も図られている。その中で、地震等災害時には、地域が孤立しないための代替路線等のアクセス確保が必要であり、安心で安全な道路づくりが望まれる。	国際化の進行により、釧路港を拠点として、十勝・道央との物流流通のため、国際規格の大型コンテナの活用が望まれており、産業振興と交通安全対策上からも早期整備促進が望まれております。 地震の多発している地域においては、災害に備えるためにも、地盤の弱い箇所道路強化を重点的に進める必要があります。 橋梁等の老朽化により、架け替え等の費用がかかるため、橋梁等の長寿命化修繕計画に基づく効率的な維持管理を行う必要がある。 ほとんどの道路にはライフラインが併設され、生活の重要な位置づけとなっているので、災害に強い道路づくりが必要である。

道路は、地域社会を形成する基幹的公共施設であり、住民の住みよい生活環境の改善を図り、日常生活の快適さ、利便さ並びに防災上の安全性を求め、計画的に道路整備を推進する必要がある。

また、第1次2次産業の輸送や観光などの経済活動を支え、流通の合理化に大きな役割を果たしており、老朽化した道路、橋梁の機能保持と早期改良整備の促進が必要であり、国からの継続した支援も必要である。

冬期間における除排雪については、迅速かつ丁寧な対応が望まれ、安全な交通の確保が必要である。高規格道路の早期完成を目指し、地域産業の活性化と観光等の分野の振興を図ることが求められている。その他、交流人口の増加を見込むためには、高速道路料金の値下げも忘れてはならない対策のひとつである。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

北海道〇〇市町村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
高規格幹線道路等の整備と高速ネットワークの構築	国内の他地域に比べ中枢・中核都市が広域に分散している地域特性を踏まえ、中核都市とその周辺地域町村を連絡する高規格幹線道路の整備、高速有料道路の各種割引等弾力的料金設定を行う。	移動時間の短縮による、高次医療サービスの広範な提供と、合わせて利便性の拡大が図られる。	
災害に強い道路への対応と災害情報の提供	災害に強い北海道をつくるため、地域を結ぶ幹線道路を複線化し、ライフラインが遮断されないようにする。また、合わせて光ファイバー網を活用し災害情報の提供を瞬時に行う。	地震・台風等自然災害による交通障害への対応が図られる。災害情報の迅速な提供により災害に遭遇する確率が減少する。	
観光道路整備による地域再生	自然に抱かれ走る国道沿いの空間を生かし、景勝地駐車場の整備を行う	快適な沿道環境が創出される。地域観光振興がはかれる。道を通して地域づくり協働意識が醸成される。	
道路構造物の維持補修への対応	今後更新時期を迎える道路構造物が急速に増加する。効率的な補修を行う。	補修による長寿命化が図られる。	